

【全身性ALアミロイドーシス】

レジメン名称 : DCyBorD (3~6サイクル)

催吐性リスク : 中等度

インターバル日数 : 28日

基準日 : day1

使用する抗がん剤:

Rp	手技	薬剤名称	標準値	上限値	投与	ルート	組織侵襲性
1	皮下注	ダラキューロ皮下注	1800mg/body	-	day1、15	-	非炎症性
2	皮下注	ベルケイド注射用	1.3mg/m ²	-	day1、8、15、22	-	非炎症性
3	内服	エンドキサン錠50mg	300mg/m ²	500mg	day1、8、15、22	-	-
4	内服	デカドロン錠4mg	20mg/body	-	day1、2、15、16	-	-
5	内服	デカドロン錠4mg	40mg/body	-	day8、22	-	-

Rp	手技	薬剤名称	用量/単位	day1	day8	day15	day22
1	皮下注	ダラキューロ配合皮下注 翼状針使用のため15.5mlで調製 皮下投与	1800mg/body	投与順1		投与順1	
2	皮下注	ベルケイド注射用 生理食塩液 3mg/Vを生食1.2mlで溶解(2.5mg/ml) 皮下投与	1.3mg/m ² 必要量	投与順2	投与順1	投与順2	投与順1

Rp	手技	薬剤名称	用量/単位	day1	day2	day8	day9	day15	day16	day22	day23
1	内服	エンドキサン錠50mg	300mg/m ²	300mg/m ²		300mg/m ²		300mg/m ²		300mg/m ²	
2	内服	デカドロン錠4mg	20mg	20mg	20mg	40mg		20mg	20mg	40mg	
3	内服	アセトアミノフェン錠500mg	1000mg	1000mg				1000mg			
4	内服	ポララミン錠2mg	2mg	2mg				2mg			

- ★ 前処置(アセトアミノフェン、ポララミン、デカドロン)はダラキューロの投与1時間以上前に投与終了
- ★ 輸血時の間接クームス試験に影響あり
- ★ 高齢者、DM患者では、デカドロンのday2、16の省略や1回量を半量程度へ減量を検討